

3学期の音読集会

去る1月30日(火)3学期の音読集会が行われました。

音読集会は、基礎タイムの時間に取り組んでいる音読の成果を発表しあうことをねらいとし、学期に1回開催されます。これが今年度最後の音読集会となりました。

3学期の音読集会は、1年生の「かぞえうた」の音読から始まりました。リズムよく、大きな口を開けて、大きな声で堂々と音読する1年生。4月からの成長が垣間見えました。2年生は詩「冬が来た」。はっきりと発音することを意識しながら一生懸命音読してくれました。3年生は音読のめあてを発表した後、カスタネットを使ってリズムを合わせる工夫をし、「夕日がせなかをおしてくる」、「ゆうひのてがみ」「いちばんぼし」を音読しました。4年生は6ページにもわたる長い詩、高村光太郎 作「牛」を大きな声で流れるように音読してくれました。5年生は授業で学習した「俳句と短歌」をわかりやすく説明し、自分たちで作った俳句と短歌「寒い冬 みかんがほしい こたつの日」「学芸会 みんなで三線弾いた後 拍手喝采 うれしいな」・・・等、披露してくれました。日本の文化をしっかりと学習し、五・七・七や五・七・五・七・七の短い言葉に込められた情景や心情を表現することの楽しさを伝えてくれました。

最後の6年生は古典の「方丈記」を最上級生らしく、真剣なまなざしで音読してくれました。古来の日本語の美しさが響き渡り、一人一人の話す言葉が、心に染み渡るようでした。

各学年の音読教材と音読のねらい

学年	音読教材	音読のねらい
1年	かぞえうた	リズムよく はっきりと音読する
2年	冬が来た	はっきりと音読する
3年	夕日がせなかをおしてくる ゆうひのてがみ、いちばんぼし	大きな声で、はっきり音読する
4年	牛	大きな声で姿勢よく 最後まではっきりと音読する
5年	俳句と短歌	じぶんの作品(俳句・短歌)を大きな声ではっきりと伝える
6年	方丈記	口形に気をつけて、音読する



写真1 1年生



写真2 2年生



写真3 3年生



写真4 4年生



写真5 5年生



写真6 6年生